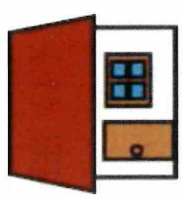


榊原町公営住宅等の入居者募集のお知らせ



公営住宅等の入居につきまして、下記住宅の希望者を募集いたします。

1. 募集する住宅の種類及び場所

No.	団地名	募集戸数	住所	規格	建設年度	共益費	家賃
1	六丁第2住宅	1戸	六丁162番地1	木造2階建 延べ79.20㎡	H10年度	—	公営住宅法に基づき、世帯所得により算定
2	六丁住宅	1戸	六丁264番地1	木造2階建 延べ74.53㎡	H4年度	—	
3	下組高齢者合宿施設	3戸	下組202番地1	木造平屋 延べ39.74㎡	H11年度	600円	
4	松原住宅	2戸	松原570番地	木造2階建 延べ80.74㎡	H5年度	1,700円	
5	松原高齢者合宿施設	2戸	松原571番地	木造平屋 延べ39.75㎡	H11年度	500円	
6	松原旧教員住宅	2戸	松原275番地	木造平屋 延べ39.7㎡	H5年度	2,200円	
7	飯母第4住宅	1戸	飯母2856	木造2階建 延べ72.03㎡	H13年度	—	
8	雲の上のハイツ	1戸	川西路2097番地	木造2階建 延べ41.21㎡	H10年度	100円	

2. 入居資格等

- (1) 現に、住宅に困窮していることが明らかでないこと。(裏面に続く)
- (2) 入居しようとする世帯全員の**月收入が259,000円以下**であること。

- (3) 申込者及び同居しようとする親族が暴力団員でないこと。
- (4) 住民税の滞納がないこと。

3. 申込方法

役場・環境整備課にある「町営住宅入居申込書」によりお申し込みください。

※収入のある方全員の**所得証明**、**納税証明**の添付が必要です。

4. 申込期限

令和7年5月16日(金)午後5時15分まで (土曜・日曜・祝日を除く)

5. 入居者の選考方法

榊原町営住宅管理条例に基づき、選考決定します。

※問合せ・申込先・・・榊原町役場 環境整備課 生活環境係 (電話65-1251)

※**住宅の修繕が長引く場合は、入居を待っていただくことがありますのでご了承ください。**

6. その他

集落行事への参加や自治会への加入、住宅周辺の環境整備(清掃・草刈り等)を最低限の条件としています。ご了承のうえ、お申込みください。

住宅については、入居前に必要な最低限の機能回復、修繕及び美装を行っています。あらかじめご了承ください。

入居前に、住宅の内覧は行っていません。(受付時に部屋の間取りをお見せすることはできません。)

退去するときは、畳の表替え、ふすまの張替え及び増築等を行った場合による撤去が必要です。なお、費用は入居者ご自身で負担していただきます。

令和7年度 ゆすはら道路網維持管理チーム (公共施設維持管理業務) チーム員募集要項

ゆすはら道路網維持管理チームは、町内道路網(国道・県道・町道等)の維持管理における清掃員を募集しています。意欲ある方の応募をお待ちしています。

【募集案内】

◆受付期間 令和7年4月15日(火) ~ 令和7年4月25日(金)

◆受付場所 梶原町役場 環境整備課(庁舎1階)

(1) 受付時間は、平日の8時30分から17時15分までです。

(2) 郵送による申し込みは、4月25日(金)17時15分までの必着に限りです。

1. 雇用形態

- ゆすはら道路網維持管理チームに所属し、他のチーム員と協力して町内道路網の維持管理業務を行う。

【イメージ図】



2. 募集人数

- 1名

3. 勤務地

- 梶原町全域の道路網(国道・県道・町道等)

※通勤手段(現地集合用の車両)は各自で用意してください。

4. 募集内容

(1) 業務内容

【 国道・県道・町道等の維持管理に関する業務全般 】

- 日常の道路パトロール
- 小動物死骸除去
- 小規模な舗装修繕
- 草刈り
- 側溝清掃及び路面清掃
- 小規模な崩土除去
- 書類作成事務(写真整理、報告書作成等) 等

※勤務地までは各自で用意した自家用車等で移動してください。

※新規採用者については、ヘルメットおよび安全ベストを支給します。

※大型・小型プロワーについては、ゆすはら道路網維持管理チームのものを使用しますが、その他、草刈機等の器具類は各自で準備してください。

(2) 雇用期間 令和7年5月1日 ~ 令和8年3月31日まで

(3) 応募資格

- 現在失業中の方(令和7年5月1日以降、他の就業がなく就業可能な方)
- 普通自動車免許を所持している方(令和7年5月1日までに取得見込みの方も可)
- 現在治療中の病気等がなく、年間(夏場も)を通じて勤務できる方
- 県税及び町民税等、支払義務を有する各種租税について滞納が無い方
- 下記条件を承諾できる方

・募集要項にある内容について、全て同意ができる方

※応募及び採用後に雇用条件等をはじめとした事項への意見等はできません。

・協調性をもち、他のチーム員と協力して作業を行える方

・作業体制及び班員編成等、その他、ゆすはら道路網維持管理チームとしての決定事項が了承できる方

(4) 勤務形態

- 1日8時間×月曜日から金曜日までの週5日

※土曜日、日曜日、年末年始(12月29日~1月3日)は基本的に休日ですが、緊急点検や進捗状況によって出勤していただくこともあります。

(5) 勤務時間(休憩時間を含む)

- 午前8時から17時までのうち8時間(12時から13時は休憩時間)

※作業現地集合が午前8時までに完了し、作業終了現地解散が17時とします。

5. 雇用条件

(1) 給料…月末締め、毎月15日に支払い

- 給与 日額 9,050円(年間固定)

(2) 諸手当

- 通勤手当 日額 250円
- 機械損料手当 日額 300円

(参考) 月20日勤務した場合の給料(各種保険料は控除なしの場合)

(9,050円+550円)×20日 = 192,000円

(3) 休暇制度

- 年次有給休暇・・・雇用期間に応じて付与します。
- 特別休暇(有給)・・・忌引休暇、結婚休暇、介護休暇 など

(4) 各種保険等

- 社会保険、雇用保険、労働保険※給料から保険等自己負担分を差し引きします。

6. 申込手続

(1) 申込書類

- 履歴書(必要事項の記入があれば任意の様式でかまいません。)
※履歴書には、申込日前3ヶ月以内に撮影した写真(上半身脱帽正面向き、裏面に氏名を記入)を糊付けし、提出してください。

- 免許証・資格証等の写し

※免許証については提出が必須となります。

※その他、履歴書に記載の資格等がある方は提出をお願いします。

- 納税証明書

※応募資格に記載事項の確認のため提出が必須となります。

(2) 申込受付期間・受付場所

受付期間	令和7年4月15日(火) ~ 令和7年4月25日(金) ※持参の場合は土日、祝日を除く平日の8時30分~17時15分 ※郵送の場合は令和7年4月25日(金)17時15分までに必着
受付場所	〒785-0695 高知県高岡郡梶原町梶原 1444 番地 1 梶原町役場 環境整備課

7. 選考

- 書類選考及び個人(集団)面談により行います。スケジュールについては下表のとおりで、結果については応募者全員に通知します。

書類選考	令和7年4月25日
個人(集団)面接	令和7年4月28日(予定)
合否通知	令和7年4月30日まで
勤務開始	令和7年5月1日

8. その他

- 履歴書は合否によらず返却しません。
- 勤務開始にあたり詳細な作業体制等については、令和7年5月1日(木)、午前9時に梶原町役場前駐車場へ集合し、説明を行うものとします。

9. 問い合わせ先

- 募集・採用に関する問い合わせは下記へお問い合わせください。

〒785-0695 高知県高岡郡梶原町梶原 1444 番地 1
梶原町役場 環境整備課

TEL:0889-65-1111(代表)、0889-65-1251(課直通)

取り組んでみませんか？

令和7年度

継続事業！

直販所出荷おうえん事業

直販所(雲の上の市場/マルシェ・ユスハラ)向けの野菜や加工食品などを町内で生産出荷をされる町民の皆さまを**応援**します！



どんな事業なの？

・直販所(雲の上の市場/マルシェユスハラ)向けの野菜づくりや加工食品づくりを応援する事業です！

- 例えば、
- ・野菜をつくる簡易雨よけハウスの導入補助
 - ・農業用機具、資材の購入についての補助
 - ・野菜等種苗の購入についての補助
 - ・加工食品をつくるための施設整備への補助
 - ・集出荷事業の実施
 - ・研修や学びの支援 など



①簡易雨よけハウス導入おうえん事業
【補助率等】75% 補助上限額 50万円

チェック 補助上限額に至るまで何回でも申請できます！



②農業用資材購入おうえん事業
【補助率等】50% 補助上限額 7.5万円

チェック 補助上限額に至るまで何回でも申請できます！



③野菜等種苗購入おうえん事業
【補助率等】50% 補助上限額 1万円/年

チェック 毎年使えます！



④加工食品生産基地づくりおうえん事業(個人対象)
【補助率等】50% 補助上限額 75万円

⑤加工食品生産基地づくりおうえん事業(集落活動センター対象)
【補助率等】100% 補助上限額 75万円

チェック 補助上限額に至るまで何回でも申請できます！



⑥農産物等集出荷システム 実証実験事業

運ぶ手段や時間がなくてもOK!
雲の上の市場やマルシェ・ユスハラに出荷する商品を集めて回ります。

チェック 令和6年度の参加者には実施前に個別にご連絡いたします。
新たに参加希望の方は観光振興係までお問合せください。

★拠点集荷(指定場所に出荷)

集荷コンテナ使用料 1回あたり100円/個

★庭先集荷(希望場所に出荷)

集荷コンテナ使用料 1回あたり200円/個

5月～11月の期間中、水曜日及び土曜日の週2回集荷に伺います。

※この事業は集落活動センターゆすはら連絡協議会(実施主体:ゆすはら東)が行います。



⑦視察研修等おうえん事業(直販所経営者対象)

直販所が主催する視察や研修等を支援します。

⑧視察研修等おうえん事業(生産者対象)

個人や生産グループが自ら計画し実施する視察等を支援します。

【補助率】50% 補助上限額2万円/人

チェック 生産者の皆さんに向けての支援制度です！

雲の上の市場やマルシェ・ユスハラに出荷している個人や生産グループが自ら計画し、実施する視察や研修等に必要となる経費をおうえんします。具体的には、

- ・交通費や宿泊費などの旅費、駐車料通行料、自動車借上料、燃料代 のほか、視察料や使用料、資料代 などです。

飲食費、手土産代などは対象になりません。

(商品の賞味期限等に係る検査や食品衛生責任者講習会の受講、講師をご自身の営業施設等に招いて開催する勉強会などの経費は「加工食品生産基地づくりおうえん事業」が使えます。)

・いずれの事業も直販所の会員であること、必ず事前の申請が必要です。

・ご希望の方は下記へお気軽にお問い合わせください。

梶原町役場まちづくり産業推進課 観光振興係 担当 下村・藤井

お問い合わせ電話番号 65-1250 IP電話**65-1250

裏に続きます

ReMORI MONTHLY /

2025年4月号
りもり vol.26
IN ゆすはら

林業情報を発信！
りもりマンスリー

～出会いの春・巣立ちの春～

ReMORI 節目の年に！

ReMORIで林業技術修得に励む地域おこし協力隊は、2020年に角金玄さんを第一号として迎え入れたのち、2022年には任期中の隊員数がこれまでで最大の6人を数えました。今年2025年は、2022年に入隊した隊員が全員任期を終えて巣立つ年です。そんな年に、ありがたいことに新規隊員を迎え入れることができました。4月1日付で着任した鷹内理恵子さん、3月31日付で任期を終えた山口佑貴さんの挨拶を、それぞれP.2、P.3に掲載します。

次号以降、なんと更に新規隊員の紹介ができるかも...！メンバーはガラッと変わりますが、これからも元気に活動していけそうです。

町内の林業・森林づくりにも新しい風が！

ReMORIの活動が呼び水となり、という少し手前味噌ですが、町内の林業・森林づくりにおいても、新しい動きが多く見られます。「森林組合の請負班に3名の若手」、「町内にターナー・リターンし、自伐型林業を始める方々」などなど。

本号では、上組に移住し林業家を志す竹内一さんに寄稿いただきました。

地域おこし協力隊 着任： 鷹内理恵子さん

👏 P.2

地域おこし協力隊 卒業： 山口佑貴さん

👏 P.3

森林づくりの担い手探訪： 竹内一さん

👏 P.4

Web & SNS

ReMORI



ゆすはら地域おこし協力隊



WORKS by 協力隊 & 協力隊OB

WOODNEIGHBORS-ウッドネイバース-

協力隊OBの角金玄が個人事業主として開業。ロープクライミングで樹上へアクセスし住宅や公共施設、神社仏閣などの樹木の伐採(剪定)を事業としています。



kijishi.labo

協力隊の吉井香在が林地残材で木作品を製作。放置されている材に新たな命を吹き込み、作品を通じて自然の美しさを表現します。



株式会社KIRecub-きりかぶ-

造林・育林事業を基軸に、育苗、木製品販売などの事業を展開。協力隊OBの下村智也を代表取締役とし、OB山口佑貴、現役隊員の長谷川夏輝が所属。



雲の上のきのこ屋さん

協力隊OBの山口がきのこの販売を目指して奮闘中。原木栽培の様子などを発信しています。たまに野生のきのこを食べるかも...！



地域おこし協力隊 着任：鷹内理恵子さん

ReMORIでは都市地域から地域おこし協力隊員を迎え入れ、林業に必要な資格取得や技術修得に励んで頂いています。これにより、次世代を担う林業・森林づくりの担い手を確保する狙いがあります。

この度、3月31日付で山口佑貴さんが3年間の任期を満了され、4月1日付で新たに鷹内理恵さんが着任されました。本ページに鷹内さんの、次ページに山口さんの挨拶を掲載します。

お二人のこれからの活躍をどうぞ温かくお見守りください。

はじめまして。4月から地域おこし協力隊に着任しました、鷹内理恵子です。生まれも育ちも埼玉県、お茶の時間とお昼寝の時間をこよなく愛しています。

まずは、梶原町にやって来た経緯を簡単にお話します。

3年ほど前から農業アルバイトや森林ボランティアを体験していくなかで、お日様の下や雨風にさらされて体を動かすことの魅力にとりつかれました。自然に近い場所で働く、生きていることを実感できます。肉体的には過酷なこともあります、気持ちがとても楽でした。

また、森への解像度が上がることが面白く(数年前まで人工林と天然林の違いも知りませんでした)段々と「もっと森を知りたい！森の近くで暮らしたい！」と思うようになりました。

希望の仕事は林業しかありませんでした。さてどこに暮らそう？と模索しているなか、林業体験で梶原町を訪れ、感覚的に「ここがいいな」と決めました。

林業は体力もいるし、危険も多い仕事と聞きます。自分にどこまで出来るかまだ未知数ですが、与えていただいた機会に感謝し、柔軟に着実に経験を重ねて、梶原の森と長く関わっていけたらいいなと思っています。

最後に、移住してひと月も経ちませんが、梶原に来て良かった～！と思うことがたくさんあったので記させてください。ウグイスの声で目覚める朝、大好きな植物クロモジの花と思いがけない出会い、人の温かさ.....

人見知りなので最初ごちないですが、ご了承ください。これからどうぞよろしくお願ひします。



炭窯で原木を用意する様子。



背負いで黒炭原木を運び出し、体力づくり。



委嘱書の交付後、町長と。

02

APRIL 2025 | VOL 26



地域おこし協力隊 卒業：山口佑貴さん



協力隊の活動中、大径木と真剣に向き合う山口さん。

皆様、いかがお過ごしでしょうか。

地域おこし協力隊として活動して参りました山口です。

早いもので、3月末日をもって協力隊着任から3年となり、地域おこし協力隊の任期を満了致しましたことをご報告致します。

この3年間、木を植えて育てる造林育林、素材生産を目的とした伐採搬出、きのこの原木栽培、炭焼きと、林業に関する一通りを学ばせていただきました。

もともと自然が好きで、「林業やってみたい!」となりましたが、反面、果たして務まるのだろうかという心配もありました。

しかし、いざ研修が始まってみると、どの事業体の親方さんも優しく、丁寧に教えてくださり、「無理だけはすなよ。」「ちょっと休んだらどうや。」と声をかけてくれたり、たまに休憩時に甘いものをいただいたり(これはほんまに嬉しい)、ハードながら楽しく林業を学ばせていただきました。

ただ集中するだけは周りが見えていないということではない。わずかな判断の差が命の危険につながる、冷静さが求められる現場で、「とりあえず一息つか。」という、息抜きの重要性を学ばせていただきました。

とはいえ、坂道はいつになってもキツイし、夏の暑さは大変です。

しかし、道々に見える山野草や樹木、動物たちのフィールドサイン、きのこなど、大いに心をかき立ててくれます。山に入るたび、この町の自然の豊かさに嬉しくなります。あとは、何十年、何百年と、この自然の豊かさが維持されていく森づくりの力になりたい。それだけ願っています。

今後は、同じ協力隊の仲間を中心に立ち上げられた造林の会社、「KIRecub」の一員として、山を元気にしていく活動をしていきます。

他にも、個人的に、広葉樹活用の試みとして、「雲の上のきのこ屋さん」を始めました。

いろんな木を使った原木栽培を試みています。日々の進捗を(たまに)綴っている、Instagramもあります。

まだまだ書きたいことはありますが、このあたりで。

ReMORIの皆様、CoMORIの皆様、サポートくださった町内の皆様、梶原町役場の皆様、協力隊員、そして家族へ、お世話になりました。

そして今後とも、何卒、よろしくお願い申し上げます。



KIRecub苗木園での作業の様子。



雲の上のきのこ屋さん。今年は5種の菌をコマ打ちしたそう。

森林づくりの担い手探訪：竹内一さん

～大きな熊手と小さな熊手～

上組に暮らす竹内一さんは、昨年高知新聞を早期退職し、林業家を志しているとのこと。移住者による林業への挑戦については、ReMORIが受け皿となり、地域おこし協力隊として3年間で必要な資格取得や技術修得を目指す形を整えています。それとはまた違った形での挑戦です。

担い手の多様化は森林の多様性向上に繋がるでしょう。ReMORIとしても新しい挑戦をする人々をどのように応援できるか、考えていく必要性を感じます。

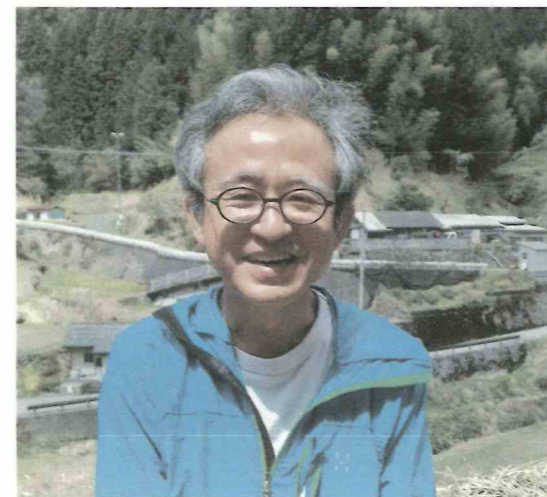
ReMORIの笹岡会長の依頼に応える形で本紙に竹内さんより寄稿いただきましたので、同会長と(株)みどりの恵の森さんによる施業地訪問の様子の写真と併せてご紹介します。

高知駅のそばで生まれ育ったものだから、ずっと森林は遠いところにあった。それにしても人生というのは分からないものだ。50歳を過ぎ、こうやって梶原に住みながら林業を志しているのだから。

森林が実感として心身に迫ってきたのは、25年前のことである。高知新聞の須崎支局長を拝命した。支局長とは名ばかりのもので、須崎市、中土佐町、葉山村、東津野村、梶原町を独りで担当する。手伝ってくれる人はいない。太平洋から県境の山間まで、その広大な管轄に呆然としながら、どこか愉快さも感じていた。海の街で海を学び、山の町で山を学んだ。たくさんの人に助けられ、教えてもらった。

梶原は、とても素敵な町だった。

洒落たホテルと温泉とプールがあって、地熱や風力といった自然再生エネルギーに挑戦し、茶堂や棚田など古くからあるものも大切にしていた。そして何よりも梶原の人たちの優しさと親切に心うたれた。



竹内一さん。



施業予定地視察の様子。

言葉だけの知識であった「間伐」を実感として教えてくれたのも梶原の人である。そのときから森林を見る目が変わった。そして梶原の森林組合は環境保全の国際認証である「FSC」を取得した。日本国内では団体として初の認証となる先駆的なものだった。私の書いた記事は新聞の1面トップに置かれた。取得の発表は高知県庁で橋本大二郎知事とともに行われた。当時の中越利茂組合長のコメントは今も素敵に響く。「FSCが認証する方向性と私たちの取り組みに大きな変化はなかった」。

昨年6月、新聞社を退職した。梶原の上組に住みながら、林業の準備を進めている。またしても梶原の人たちの優しさと親切に助けられながら、である。

チェーンソーや重機の取り扱いを習得するには遅きに失している。急斜面での過酷な作業に耐え続けられる体力もない。退職してから高知県立林業大学校で一般向けの技能講習や研修を受講しているが、いつも最年長の参加者となる。

それでも、小さくてゆっくりとした林業ならば、できるのではないか。

林業大学校で森林組合の職員が話していた。「山の施業には大きな熊手と小さな熊手の両方がいるんじゃないでしょうか」。

その小さな熊手になりたいと思う。

03

APRIL 2025 | VOL 26

04

APRIL 2025 | VOL 26

図書館イベントのお知らせ

2台のチェロが奏でる、爽やかな初夏の調べ



令和7年5月17日(土)
時間 14:00~15:00

東京音楽大学を卒業後、クラシックからポピュラーミュージックまで幅広いフィールドでご活躍の宮尾悠さんをお招きし、宮尾さんとお弟子さんによるデュオコンサートを開催します。コンサートホールでは感じる事ができない、間近で演奏されるチェロの音色をお楽しみください。

開館7周年！雲の上の図書館フェスティバル

令和7年5月25日(日)
時間 9:00~15:00

皆様に支えていただき、雲の上の図書館は7周年を迎えることができました。日頃より図書館を応援して下さる町内各団体の皆様により、多種多様な楽しい催しが盛りだくさん！館内や芝生広場でゆっくりと交流をお楽しみください。これからも図書館をよろしくお祈りします！



- ★町民文化ステージ
- ★うまいもん市
- ★本の譲渡会
- ★しまんと新聞ばっぐ体験会
- ★お茶席
- ★フリーマーケット

かわぞえうどう 福ダルマの絵付け体験

小学3年生以下の参加は保護者の同伴が必要です



図書館カウンターまたは電話で予約受付中

令和7年5月25日(日)
時間 ①10:00~12:00 定員:各回6名
②14:00~16:00 要事前予約

人形制作やイラスト、デザインなど、多岐にわたる創作活動を行いながら須崎市にある「川村雑貨店」で作品を展示・販売する「かわぞえうどう」さんを迎え、幸せを運ぶ福ダルマの絵付けを体験できます。うどうさんの作品作りの一端に触れながら、あなたもアーティストに！

【お問合せはこちらまで】 0889-65-1900 雲の上の図書館

雲の上の図書館は おかげさまで開館7周年！

かわぞえうどう
福ダルマの絵付け体験

①10:00~ ②14:00~

各回定員6名の事前予約制です。図書館
カウンターまたは電話で予約受付中

小学3年生以下の参加は保護者の同伴が必要です

人形制作やイラスト、デザインなど、多岐にわたる創作活動を行いながら須崎市にある「川村雑貨店」で作品を展示・販売する「かわぞえうどう」さんを迎え、幸せを運ぶ福ダルマの絵付けを体験できます。



古本譲渡会
&
付録大放し！

9:00~15:00

図書館の除籍本をお譲りします。手に持てる分だけお持ち帰りください。図書館カードのご提示で、雑誌付録の抽選に参加できます。

青空お茶会

9:00~15:00

梶原茶道クラブによる本格的なお茶の接待を体験しませんか？お茶菓子が無くなり次第終了です。

フリーマーケット

雨天時は旧梶原体育館にて開催

9:00~15:00

フリーマーケットを通して、不用品のリユースと新しい出会いが生まれます！出店をご希望の方は、梶原町社会福祉協議会まで。

町民文化ステージ

12:30~

- ・絵本の小部屋
- ・ゆずはらオカリナ倶楽部
- ・フラダンスnaniゆずはら
- ・奥萌
- ・アイミー(梶原高校音楽部)

図書館 フェス ティバル

※天候によりイベント内容を変更する場合があります

うまいもん市

9:00~15:00

梶原各地の集落活動センターから、自慢のうまいもんが大集合！

しまんと新聞ばっぐ
ワークショップ

9:00~15:00

公認インストラクターの吉富文さんと一緒に、丈夫でおしゃれな「しまんと新聞ばっぐ」を作りましょう。随時参加可能。

令和7年
5/25 日曜日
会場:雲の上の図書館



公式インスタグラムで
最新情報更新中

【お問合せはこちらまで】 0889-65-1900 雲の上の図書館

放課後こども教室 特別支援サポーター募集

梶原学園の子どもたちが、放課後や夏休み等を安心安全に過ごす教室の見守りサポーターを募集しています。

放課後子ども教室とは？

梶原学園の児童を対象として学校の放課後や、長期休業中に安心安全な居場所づくりとして児童を預かっています。

地域の方の協力のもと、子どもたちが様々なことを体験する場を提供する事業です。

特別支援サポーターとは？

放課後子ども教室での活動において、支援を必要とする子どもたちが安心して過ごせるように見守りや体験活動の支援を行っていただく有償ボランティアの方々です。

◎活動時間

*学校がある日の放課後

(基本的に午後2時半～午後6時のうち、2.5～3時間程度)

*夏休み・冬休み・春休み中の平日(お盆・年末年始はお休み)及び参観日の代休日

(午前8時～午後1時と午後1時～午後6時の間で交代制)

*月に1度サポーター会で情報共有を行います。

◎謝金・保険等

*特別支援サポーター 1,480円/時間(税・交通費込)

サポーターに登録いただいた方は、保険に加入します。

保険料は梶原町が負担します。

サポーターに登録いただくには、特別な資格は必要ありません。
保護者の方や地域の方、ぜひご協力をお願いします。



【お問合せ・お申込み先】

○梶原町教育委員会事務局
生涯学習課生涯学習係 立道

○電話：0889-65-1350
(IP**65-1350)



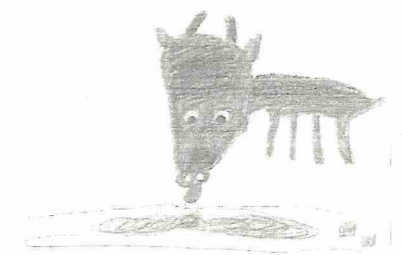
梶原町のみなさまへ

堆肥価格改定のお知らせ

公社の堆肥をご利用いただき誠にありがとうございます。

この度、製造にかかるコスト(電気料・軽油代)が値上がりとなったため、現在の価格を維持することが困難となり、やむを得ず価格を見直すこととなりました。

皆様にはご迷惑をおかけし大変申し訳ございませんが、ご理解いただきますようお願い申し上げます。



令和7年4月～の価格

		価格	配送料	合計
牛 ふ ん 堆 肥	袋 (15kg)	220	3,000	220円×袋数 +3,000円
	2t車 (配達)	3,300	3,000	6,300
	4t車 (配達)	5,500	3,000	8,500
	自己積込 (横貝)	550	0	550
	軽トラ積込 (宮谷)	2,200	0	2,200
	4t積込 (宮谷)	3,300	0	3,300

車種問わず

一般社団法人津野山畜産公社

連絡先 0889-68-0110

※ 積込み及び配達は事前予約にて承ります。